

令和6年5月14日

令和6年度みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）
「日本と木材輸出相手国の樹木を外来病害虫から護る複合リスク緩和手法の開発」
の公募審査の結果について

令和6年1月19日～2月29日の期間において公募を行いました、令和6年度みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）「日本と木材輸出相手国の樹木を外来病害虫から護る複合リスク緩和手法の開発」の課題について、審査委員会による審査の結果、下記のとおり委託予定先を決定しましたのでお知らせします。

記

1. 審査委員等

公募研究課題	審査委員所属等	審査委員氏名
日本と木材輸出相手国の樹木を外来病害虫から護る複合リスク緩和手法の開発	国立大学法人東京大学 名誉教授 学校法人日本大学生物資源科学部森林資源科学科 教授 株式会社アグリクリニック研究所 代表取締役 一般社団法人日本木材輸出振興協会 専務理事 吉田・若林特許事務所 代表弁理士 消費・安全局植物防疫課 課長補佐（企画班担当） 林野庁林政部木材利用課木材貿易対策室 室長	富樫 一巳 太田 祐子 村井 保 吉野 示右 吉田 倫太郎 後藤 慎 赤羽 元

※審査委員の所属・役職は審査委員会（令和6年3月12日）時点の情報です。

2. 委託予定先

公募研究課題	代表機関	共同研究機関等
日本と木材輸出相手国の樹木を外来病害虫から護る複合リスク緩和手法の開発	国立研究開発法人森林研究・整備機構	長野県林業総合センター 岐阜県森林研究所 鹿児島県森林技術総合センター 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 東京都公立大学法人東京都立大学 国立大学法人京都大学 国立大学法人鹿児島大学 中国木材株式会社 沖縄美ら島財団